

東舞子

2017/9/29 (10月号)

神戸市立東舞子小学校

平成29年度学校だより

<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

共に生きる社会について考える～総合的な学習から～

2学期早々の授業参観には、残暑厳しい中、多数の保護者の皆様にご来校いただき、夏休みの作品とともに、子供たちの授業の様子をご覧いただきまして有難うございました。また、例年実施しています地域合同の防災訓練を9月6日に避難訓練と併せて行いました。地域の防災福祉コミュニティの皆様をはじめ、垂水消防署の隊員の方や舞子台ホームの職員の方の協力を得て、6年生の子供たちが消火訓練や煙体験など、貴重な経験をすることができました。今回の訓練が、もしものときに役立つことを願っています。

さて、先日、目の不自由な谷口 真大（まさひろ）さんという方から、4年生の子供たちが、お話を伺う機会を得ました。実は、4年生の子供たちは、総合的な学習の時間に様々な福祉体験（アイマスク体験・車椅子体験・白杖体験・点字版体験など）を通して、健常者と障害者が共に生きる社会について考える学習をしています。谷口さんからお話を聞くことも、その学習の一環なのです。ここで、谷口さんのプロフィールを簡単に紹介しておく、2歳の時、小児がんを発症し、網膜芽細胞腫のため失明、高校



進学後に陸上競技と出会い、本格的なトレーニングを開始、大学時代には、初マラソンながら2時間50分台の好記録をマークし、2013年のIPC世界選手権に出場し5位入賞、2014年のアジアパラリンピック競技大会では、1500mと5000mで4位入賞、さらに、今年の夏にロンドンで開催された世界パラリンピック陸上選手権には、全盲のクラスの日本代表として男子5000mに出場し、16分22秒19の記録で6位入賞を果たされています。生命保険会社のCMにも出演をされたことがあるので、お顔を見ればご存知の方もおられるかと思います。現在は、イベント会社で勤務する傍ら、2020年に日本で開催される東京パラリンピックの5000mとフルマラソン出場を目指し、練習の日々を過ごされています。私は、4年生の子供たちがお話を聞く前に、校長室で谷口さんから15分ぐらいお話を伺いましたが、42.195kmを走り切るとは思えないくらい華奢な体をされていました。けれども、優しい口調の中に、自分自身と向き合うことのできる力強さとたくましさを言葉の端々に感じることができました。きっと4年生の子供たちも、同じようなことを感じながら、谷口さんの話に聞き入っていたことでしょう。後で読ませてもらった4年生のワークシートには、谷口さんへの質問やお話を聞いた感想が、隙間なく記されていました。ある4年生の児童が、このような感想を書いていました。「一番大変なことは、食べることや料理をすることだと思っていたけど、本当は、周りに人がいないことだと話されていたので、私も白杖を持っている人を見かけたら、勇気をもって何か手伝うことがないか、声をかけていきたいです。私が、ふだん見てすることを谷口さんは、見えないでするので、怖かったり不安に感じたりしているのだと思いました。そんな中で、大好きな陸上というスポーツに出会い、世界を目指してがんばっている谷口さんを応援したくなりました。」60分余りの限られた時間でしたが、谷口さんの話は、4年生の子供たちの心にきくと深く刻まれたことだと思います。

校長 梅鉢 泰博